

## ご挨拶

専務理事 原 晃志

アドバンテージ、すなわち長所は、人間誰しにも与えられています。

とりわけ、呉青年会議所には、卓越したアドバンテージを有する人材が数多く集まっています。

個々のアドバンテージが結びつき、共同し、相乗効果を生じるとき、個々では得られない団体としてのアドバンテージが発揮されます。

その強大なアドバンテージは、「明るい豊かな社会」を築き上げるために必要不可欠な力です。

専務理事は、「業務執行理事として理事長を補佐して業務を処理し、事務局を統括する」と定められています（定款第19条4項）。

辞書を繙きますと、「補佐」とは人に付いてその仕事をたすけることであり、「事務」とは事業経営などに必要な各種の仕事であるとされています。

つまり、専務理事という役職は、理事長のアドバンテージ及び呉青年会議所という団体のアドバンテージが発揮されるための要となるものと理解しています。

そして、他人のアドバンテージを認め、引き出すことができる、というのが私のアドバンテージです。

2017年度、要として全会員のアドバンテージを引き出し、「呉＝戦艦大和のまち」というブランドと、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドを確立します。

私事ですが、昨年、初めての子どもを授かりました。

私たちや子どもたちがこれから生きていく呉というまち。

それは「明るい豊かな社会」でなければなりません。

このまちに生まれて良かった、このまちに生まれたことがアドバンテージだ、と言える社会でなければなりません。

呉青年会議所は、まちを変えるアドバンテージを持った団体です。

全会員のアドバンテージが結びつき、共同し、相乗効果を生じれば、呉をより良いまちに変えることが、必ず、できます。

呉青年会議所が団体としてのアドバンテージを発揮し、呉のアドバンテージが活かされた「明るい豊かな社会」を築き上げるため、自分自身のアドバンテージを振り絞ってまいり所存です。

## ご挨拶

常務理事 儀道 忠男

公益社団法人呉青年会議所は創立から65周年を迎えます。本年は5年間で積み立てた積立金を使用させて頂く年となります。この積立金は、特別会員の皆様と新入会員の入会金を積み立ててきた大切なお金です。それにあたり、当然ですが「目に見える結果」を強く求める必要があります。それは、費用対効果であり、このまち、ひとの自身の肌で感じる変化です。この景気が良いとは言えない折に、呉のまちに投資するお金と時間が最大限に活かされ、このまちの発展の礎石となる様な事業展開が必要です。私は、「行動力」というアドバンテージを活かし、本年の結果に寄与したく存じます。

まずは、当団体の運営を支える重責ある常務理事として「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立のため、また「呉市民＝夢抱く人々」というプライドの確立のために、呉市における観光振興の時流や社会環境の変化を踏まえた最適な事業であるのかを皆と共にしっかり議論することが必要です。その上で、会計担当として各事業における適切な費用の支出がされているのか、しっかり精査させていただきたいと存じます。さらに、精鋭のメンバーと共に力を合わせ最大限の事業に仕上げます。

最適な内容の事業と、適切な費用支出、団結力のもとに「呉＝戦艦大和のまち」というブランドを確立し、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドを確立します。

至らぬ点、不躰、失礼な点は多々あろうと存じますが、何卒ご指導、ご鞭撻の程、宜しく申し上げ私からの挨拶と代えさせていただきます。

## ご挨拶

常務理事 平原 雅啓

呉青年会議所が公益社団法人となり4年目を迎えます。

公益社団法人格は、我々が行う事業展開において、行政や外部組織から高い社会的信用を得るなど、大きなアドバンテージとなります。

その反面、行政庁からの指導監督、公益認定法のルールの下に事業展開を行わなければならないという制約が存在します。そのため、公益性に裏付けられた事業を展開し、その事業費は満たすべき公益目的事業比率をクリアしていなければなりません。

本年度の呉青年会議所は、呉のアドバンテージを活かし、今までにないシンプルかつどストレートに、「呉＝戦艦大和のまち」というブランドの確立、「呉市民＝夢抱く人々」というプライドの確立という2本柱で進んでまいります。

呉のまちの人たちにとって今まで以上にわかりやすい事業展開、かつ呉青年会議所の名前を呉のまちに知らしめる事業展開になることと思います。

公益を担当する常務理事として公益のルールを熟知し、それに則り、各事業の予算計画を厳正に審査し、各委員会との調整・指導の徹底に努めます。

そして2017年、呉青年会議所は65周年を迎え、公益社団法人として初の周年を迎えることとなります。周年における公益法人会計のルールをしっかりと学び、適切な事業遂行を行うよう努めます。

そして常務理事として常に専務を助け、呉青年会議所の一つ一つの音という個々が重なり合い大きなハーモニーとなるべく陰から支えたいと思います。

一年間どうぞ宜しくお願い致します。